

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年4月3日 No.39

原子力空母
是非を問う

住民投票条例制定もとめる署名行動最終盤 神奈川

5、6の土日、首都圏中心に横須賀へ応援に入ろう

8月に原子力空母が米海軍横須賀基地に配備される問題で、原子力空母母港化の是非を問う住民投票条例の制定を市議会に求めるよう市長に直接請求する署名行動が、4月6日の期限を前に連日のように市内各所で行われています。

京急横須賀中央駅前では2日、青年たちが中心になり「お帰りなさい宣伝」が取り組まれました。「原子力空母に賛成の人も反対の人もまだ考え中の人も、みんなが意見を出す場をつくっていきましょう」と若い人の呼びかけに、足を止めて署名をする姿があちこちで見られました。署名をした若者たちは「上だけで決めるのは良くない」、「事件が多いし、空母が来るといことは米兵がたくさん街に出てくるということ。本当にやめてほしい」、「自分がわからないところで決まってしまうのがイヤ」などと話していました。3月6日から始まった署名行動は現在、条例を実現するために必要な50分の1(約7200人以上)をはるかに超える4万筆の自筆と押印が集まっています。原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会は、署名集め期限の4月6日までに6分の1にあたる6万人から集めようと張り切っています。



非核平和運動の新たな峰めざそう 山形県原水協総会ひらく



今年創立50周年を迎える山形県原水協の08年定期総会が3月29日山形市で行われました。総会には県内各地から役員、代議員ら30人が参加。冒頭に日本原水協の水谷辰也事務局次長が「核兵器・平和をめぐる情勢

と原水爆禁止運動の課題」と題して記念講演、2010年へ向けたダイナミックな反核平和運動を山形でもと期待を込めて訴えました。昨年事務局体制を一新し組織再建へと踏み出した同原水協はこの一年さまざまな課題に挑戦し、財政再建にも見通しが生まれてきました。今年は山形県原水協が創設されて50周年の記念の年。2010年へ向けた「3ヵ年発展中期計画」も全員で採択、今年広島で開かれる世界大会には50人の参加をめざすなど山形での非核平和運動の新たな峰をめざす意欲的な活動方針を決めました。(佐々木俊司)

非核自治体宣言満場一致で可決 新潟

新潟県阿賀町3月定例議会で、町長提案の「阿賀町核兵器廃絶・平和の町の宣言」について満場一致で議決されました。

阿賀町核兵器廃絶・平和の町宣言

阿賀野川に代表される阿賀町の豊かな自然を守り、平和で安心して生活を送ることが、すべての町民共通の願いです。

しかし、地球上では核兵器の脅威をはじめ、悲惨な争いがあとをたたく、人類の平和と地球環境が脅かされています。

核兵器を廃絶し、恒久平和の実現は、世界唯一の被爆国である日本国民共通の悲願であり、阿賀町民の心からの望みです。

よって阿賀町は、非核三原則を守り、すべての核兵器の一日も早い廃絶を求めて、ここに「核兵器廃絶・平和の町」を宣言します。